

永松だより

松源寺通信
第29号

開創1521年(大永元年)
2026年(505)

といい茶碗の水を一滴も漏らさず次の茶碗に注ぐように何も足さず何も引かずその教えを伝えなさいと。

現代の生活が進化し身の回りの物がどんどん変わります。ギャップが出来るのは当たり前のことだと思い

ます。ギャップが出来るのは当たり前のことだと思い

ますが、きちんと伝え、昔ながらの事を継承するのも忘れてはいけないのでは?

お釈迦様の教えは二千

六百年を経ても色あせることがなく、私たち仏教徒の生きる指針となっています。

今年は先代三十四世智貫

孝善大和尚の十三回忌を迎

えます。(別紙案内)

四十年に亘り松源寺を護

持してきたことへ感謝の念

と、これからの中未来への祈

りと共に、手を合わせ供養

したいと思います。

| 令和八年 年間行事計画 | 一月一～三日 | 三朝祈禱 |
|-------------|------------|----------------------------|
| | 二十六日 | 高祖降誕会(追元禪師の誕生日) |
| | 三月十一日 | 東日本大震災慰靈法要 |
| | 二十日 | 3.11を忘れないコンサート |
| | 十七～二十三日 | 当山三十四世智貫孝善大和尚命日 |
| | 四月八日 | 春彼岸 降誕会(お釈迦様の生まれた日) |
| | 五月 | 永松会総会 研修旅行 |
| | 六月 | 教区護持会研修会(特派布教道場) |
| | 七月十日 | 防災訓練(青葉工場内会共催) |
| | 八月十四日 | 孟蘭盆大施食会(十三時三十分打出し) |
| | 九月二十一～二十六日 | 秋彼岸 教区萬燈会 |
| | 二十六日 | 二十九日 |
| | | 兩祖忌(道元禪師・瑩山禪師がお亡くなりになられた日) |
| | 十月五日 | ダルマ会 観音堂御開帳供養 |
| | 十月十日 | 秋のタベコンサート |
| | 十一月二十一日 | 太祖降誕会(瑩山禪師の誕生日) |
| | 二十二日 | 永代墓地供養祭 |
| | 十二月八日 | 成道会(お釈迦様が悟りを開かれた日) |
| | | 永松会忘年会 |

葉です。

先日、お墓参りの方が井戸の水を出そうとガチャガチャ取つ手を動かしていました。しかし中々水は出ません。私がさし水をすると出ます

松源寺は今年開創505年を迎えます。曹洞宗の教えを伝え、ご先祖さまのご供養を続け、みやくみやくと時を刻んでいます。曹洞宗では師匠から弟子へ相承(そういうじょう)

令和七年 行事報告



東日本大震災慰靈法要

3・11を忘れない
いのりの集い
Yaeコンサート

3月11日(火)



観音堂御開帳供養

伍芳 秋のタベコンサート
古箏奏者 伍芳(ウーフアン)さん

9月23日(火)



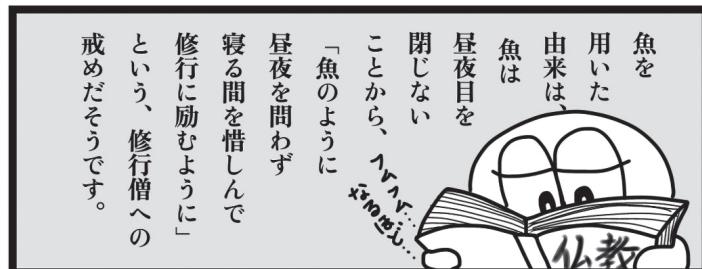
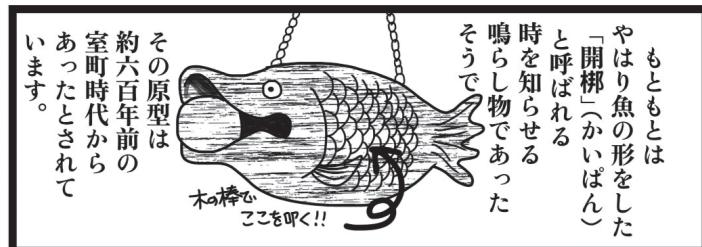
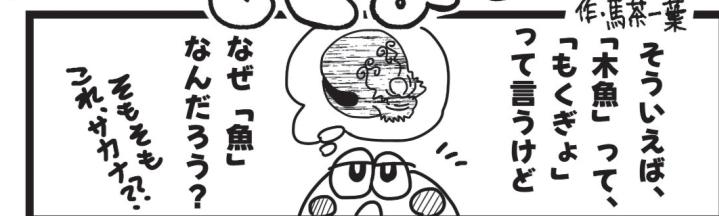
永代墓地觀音様の秋祭り

バザー・カレーの昼食・
南城さんの演奏

11月24日(月)

松源寺

まつよし



新年あけましておめでとうございます。

宗務所にて学んでおりました梅花指導者養成所も今年度で最後となりました。

昨年の十一月に行われました検定会では無事四級師範に合格致しました。

法具の房の色も水色から白色に変わり一層身が引き締まる思いです。

本年も当寺の行事の中で梅花をお唱え出来ればと存じますので宜しくお願ひ致します。

大輝のつぶやき

気温37℃の8月29日羽田空港第3ターミナルからシンガポール、チャンギ空港でトランジット。ネパール、トリップバングラ国際空港に到着したのは日本時間で午前1時を過ぎていた。モンスーンの季節で雨が降っていた。宿泊先のノマドホテルでは日本人スタッフの杉戸さんが出迎えてくれた。これまでネパール支援の窓口として細やかに事務を進めてくれた方。何度もお会いしていたが現地で一緒にするのは初めてだ。

翌8月30日は図書館事業のリソースセンターのあるグルマデヴィに向かう。



ト。空からは田園地帯の平野が望まれた。上空高く飛んでいるはずだがそもそも陸地が高いのか?地面が近く感じた。約1時間のフライトで到着した空港ではタクシー(自転車や電動の三輪車や古いワゴン車)の呼び込みをくぐり抜け、迎えのオフロード車に乗り込む。そこから約100キロの車移動、平坦な道なら2時間も要しないだろうが、ここはネパール。大きな山を2つ3つと越えるワインディングロード、同じような作りの家々の村や曲がりくねった川をいくつも越える。クラクションを鳴らしながらヘヤピンカーブを曲がる、大型バスと連れ違ひ2人乗りのバイクを追い

現地で会うのは2年ぶり相変わらずパワフルで元気だ。おすすめのミルクティーを飲みながら簡単に明日の打合せをしちェックイン。19時に地ビールを片手に夕食を取りながら3人でネパールの支援状況やシャンティの運営などについて話した。(次回へ続く)

シヤンティ国際ボランティア会
理事(住職東海記)

2025年8月31日(8月29日~9月3日)

ネパール滞在記 ダルマデヴィ図書館竣工式参列(その1)

告 知

東日本大震災慰靈法要

3・11を忘れない いのりの集い

古謝美佐子 コンサート in松源寺

15:45～ 慰靈法要 [本堂]

16:10～ 17:10 コンサート [庫裏]

キャンドルナイト 17:30点火 [境内]

古謝美佐子 (こじゅみさこ) プロフィール



1954年沖縄県嘉手納町生まれ。沖縄民謡女性歌手。9才でレコードデビュー。86年より坂本龍一のユニットに参加。90年より女性4名沖縄民謡グループ「ネーネーズ」にリーダーとして参加し6枚のアルバムなどを発表。1995年末に脱退後ソロ活動開始。ソロCD「天架ける橋」「廻る命」は高く評価され自作詞の子守歌「童神」は多くの歌手にカヴァーされ21世紀の沖縄民謡の代表曲となる。

また「うないぐみ」の活動では1枚のアルバムと坂本龍一との共作シングル「弥勒世界報」を発表。

その他、文楽人形やモンゴル800など他アーティストとのコラボ公演やCD参加、映画「洗骨」出演(2019)、首里城守礼門にてヨーヨーマと共に活動(2021)など活動は多岐に渡る。

初録音から60年目の2023年にソロCD「平和星☆願い歌」を、2024年にはユニット「古玉優海」のシングルCDを発売した。



年会費
3,000円

会計
監査
監査
副会長
長

婦人会役員

| | | | | | | | | |
|-----|----|-----|-----|----|-----|----|----|----|
| 東海 | 戸田 | 戸田 | 山内 | 及川 | 宮沢 | 佐藤 | 山内 | 梅原 |
| 貴代美 | 詩子 | トシ子 | 美津枝 | 裕子 | ハマ子 | 廣子 | 陽子 | みち |

年会費
10,000円

会長
副会長
会計

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 宮澤 | 竹丸 | 佐野 | 橋 | 植木 | 石田 | 高橋 |
| 洋一 | 武志 | 正人 | 尚朗 | 憲郎 | 和洋 | 信吉 |

永松会

◆ 一華五葉 いつかごよう ◆